WebCraft AI 通信

中小企業の現場で、AIをどう使うか

2026年 11月号
Vol.4
発行:WebCraft AI

いつもお世話になっております。WebCraft AI の加藤です。
朝晩は冷え込むようになりました。今月は**「社員が、黙ってAIを使っている」**という話を。禁止すると決める前に見ておきたい数字と、その対処をお届けします。今月も3分ほどでお読みいただける分量です。

今月の数字

「気が引ける」と思いながら、64%が入れています

会社が把握していないAI利用を**「シャドーAI」**と呼びます。問題はAIを使うこと自体ではなく、**把握されないまま使われている**ことです。

エルテスの調査では、非公開情報をAIに入れることに抵抗があると答えた人が多数。ところが**その人たちの64.1%が、実際には入れた経験がある**と答えています。悪意ではなく、罪悪感を抱えたまま使っている姿が見えます。

背景にあるのが、社内にルールが**「ない」45.0%、「わからない」26.7%**という状態です。別の調査では入力経験が一般職18.8%に対し課長・部長クラス37.5%と、**役職が上がるほど多い**結果も出ています。

禁止すると、使うこと自体はなくなりません。見えなくなるだけです。



出典:エルテス「生成AIの利用に関する調査」(2026年1月13日実施・会社員および公務員300名)／役職別の数値はGRAS Group調査(2026年4月実施・生成AI利用者478名)

今すぐ使える一手

社内ルールのたたき台を、AIに作らせる



ルールがないなら、まず作ることです。ゼロから書く必要はありません。下の指示で、たたき台が出ます。

▼ そのままコピーして使えます

当社は【業種・主な業務】です。社員が生成AIを使うときの社内ルールのたたき台を作ってください。扱う情報を**「入れてよい」「条件つきで可」「入れない」の3つに分類**し、それぞれ当社の業務で実際に出てくる具体例を3つずつ挙げてください。禁止事項を並べるだけにはしないでください。

「3つに分類」の指定が効きます。これがないと「機密情報は入力しない」という、現場では判断できない一行が返ってきます。

AI活用の実例

この記事の下書きも、AIと分担しました

今月のテーマは、先にnoteへ記事として書きました。**下調べと構成はAI、判断と言い切りは自分**という分け方です。書く速さより、**調べる手間が減った**ことのほうが大きいと感じています。



下調べと構成案は、AIに任せた	数字は自分で、公表元まで戻った
言い切るところは、自分の言葉で	かかった時間は、半分ほどに

記事はこちらです。→ note.com/web_craft_ai「企業が知らない“シャドーAI”の実態」

よくいただくご質問

Q. うちの規模でも、助成金は使えるのでしょうか

A. **規模は、まず問題になりません。**小売業なら従業員50人以下、サービス業・卸売業は100人以下、その他の業種は300人以下（資本金での判定も可）。多くの会社が当てはまります。注意すべきはむしろ中身で、**令和8年8月の改正により、職業人として共通して必要な内容の訓練は対象外**になりました。本研修は、**担当業務ごとに必要な知識・技能を習得する形**で組み立てています。

お知らせ

DXリーダー研修〈初級編〉 1月・2月の開催枠をご案内中です

社内の有志3〜4名から受講いただける、実務直結型のプログラムです。助成金は**2027年3月末で終了予定**。計画届は研修開始の1か月前までなので、**1月開催なら12月上旬**が目安です。

3名まで60万円(4名目以降は1名につき+5万円)
助成金の対象となる場合があります



現場から一言 —— シャドーAIの話で毎回思うのは、**黙って使っている人ほど、仕事を何とかしようとしている人だ**ということです。禁止すれば、その工夫ごと見えなくなります。先日お会いした会社でも、一番うまく使っていたのは誰にも言わずに試していたベテランの方でした。ルールは取り締まるためではなく、その工夫を表に出すために作るものだと思っています。

編集後記 —— 本紙は、文章の下書きから図版・レイアウトまで生成AIで制作し、PDF版・ホームページ版とも内製しています。今月は出典の確認に一番時間がかかりました。**話題になっている数字ほど、元の調査にたどり着けないことがあります**。最初に見た記事には調査主体の記載がなく、結局は公表元の発表まで戻って確かめました。掲載する数字は、調査機関の公表資料を確認したうえで載せています。

WebCraft AI(ウェブクラフトAI) 加藤 俊一
DXリーダー研修事務局担当 / Web・クラウドサーバ営業担当
https://www.ki-zu-na.jp/ | note: note.com/web_craft_ai

※本紙の配信が不要な場合は、お手数ですがその旨ご返信ください。すぐに配信を停止いたします。

お気軽にご相談ください
「うちの場合はどうだろう」という段階のご相談も歓迎です。このメールにご返信いただければ、個別にお答えします。